

活動報告

- ヒメボタル観察会
- 水生生物観察会(川西市里山体験学習)
- 出前講座(猪名川自然再生プロジェクト)
- 出前講座(地域の防災学習)
- 水辺で乾杯in猪名川

トピックス

- アカミミガメとアメリカザリガニ(水谷河川レンジャー)
- 有岡城跡(原口河川レンジャー)

お知らせ

- 第12弾 猪名川のい〜な！作品募集
- 伊丹市生物多様性交流フェスティバル



活動報告

ヒメボタル観察会

5月12日(金) 猪名川河川敷(伊丹市桑津橋上流)で実施

ヒメボタルの保全活動に長年取り組んでいる佐藤河川レンジャーが主催して、猪名川河川敷に生息するヒメボタルの観察会を開催しました。参加者の皆さんにヒメボタルの生態や特徴などを簡単に説明した後に、観察場所へ案内しました。時期が少し早く数が少なかつたものの、21時頃には50匹ほどが確認でき、黄色い光を点滅させながら飛翔する様子を観察していただくことができました。参加者の皆さんからは、「猪名川の自然を守りたい」などの声が多くありました。

佐藤河川レンジャーより一言

近くの学校に広報をお願いしたため、多くの家族連れが参加され、ヒメボタルに感激していました。ほとんどの参加者が陸生のボタルを知らなかったと話していました。今後もヒメボタルの棲む河川敷の魅力を伝えていきたいと思えます。



佐藤河川レンジャー



ヒメボタル

出前講座(猪名川自然再生プロジェクト)

7月15日(土) 猪名川河川敷(中国道高架下)で実施

「猪名川自然再生プロジェクト」から依頼を受け、水谷河川レンジャーが猪名川の河原で体験学習を行いました。「川の様子を観察」と「水の観察」により猪名川がキレイであることを実感し、水質パックテストの簡易水質調査で渓流魚でも棲める水質であることを確かめました。また、ほんの少しのジュースを混ぜるだけで魚が住めない水になってしまうことを体験し、猪名川の水を守ることの大切さをお伝えしました。

水谷河川レンジャーより一言

子どもたちと一緒に親御さんにも話を聞いていただいたので、いっそう理解が深まったと思います。水質調査のあとはアカミミガメなどの外来種を紹介し触ってもらいました。大好評でもっと解説したい気持ちになりました。



水生生物観察会(川西市里山体験学習)

6月1日(木) 知明湖キャンプ場で実施

川西市教育委員会からのご依頼で、水谷河川レンジャーが久代小学校の里山体験学習の講師をつとめました。知明湖キャンプ場の小川で水生生物を捕獲・観察し、その生物の種類から水質判定をして、猪名川の水がきれいなることを実感してもらいました。また、水質パックテストを用いた実験では、ジュース等が少し混ざるだけで魚が住めないほど汚れた水になることを知り、水を汚さないことの大切さが実感できました。



水谷河川レンジャーより一言

生徒数100名ほどで大変にぎわいました。初めて見る生き物は気持ち悪くても、観察会を通して触れるようになっていた、そのような姿を見るとやりがいを感じます。生き物の考え方に変化があればうれしいです。

トピックス

猪名川の生き物紹介

アカミミガメとアメリカザリガニ

6月1日からアカミミガメとアメリカザリガニの規制が始まりました。これらの外来種はトラックバスなどの特定外来生物とは一風異なる条件付特定外来生物として扱われます。ペットとして飼育している場合は、届け出などの手続きなしで飼育を続けることができますが、野外に放したり逃がしたりすると処罰対象になります(ただし、無償譲渡は認められる)。

アカミミガメとアメリカザリガニは猪名川流域にも生息しており、目立った農業被害は確認されていないものの、見えないところで在来生物たちに大きな影響を与えていると考えられます。野生個体は駆除が望ましいですが、捕獲方法や殺処分手段など、駆除活動は進んでいるとは言えません。彼らに悪気はなく、野外に放した人間に責任があります。生き物の飼育を始めるとき、その生き物のことをよく調べてから終生飼育ができるかと判断した上で迎えてください。



水谷河川レンジャー



アカミミガメ

出前講座（地域の防災学習）

7月2日（日） 園田東中学校（尼崎市）で実施
 尼崎市東園田町の富田町会からご依頼をいただき、志築河川レンジャーが「島の内の防災について」と題した講座を務めました。「島の内」は猪名川と藻川に挟まれた島状の場所で、浸水被害の危険性が高く、地域の皆さんの災害に対する関心が大きい地域です。

講座では、猪名川が氾濫した場合に地域が浸水する状況をシミュレーション映像などで理解してもらおうとともに、こうした事態に備えて猪名川河川事務所が行っている治水対策や、洪水時に適切に情報収集する方法などをお伝えしました。また、近年の大規模な水害や台風時の高潮、地震時の津波などの危険性と、災害に遭遇した時の避難方法・対応方法、日頃の備えや自分に合った備蓄などの重要性を伝えました。



志築河川レンジャーより一言

水害に対しての意識は高いのですが、「わがこと」意識が残念なことに低いのが問題です。防災時の「正常性バイアス」が招くリスクを伝え、「わがこと」との意識改革に力を入れていきたいです。



志築河川レンジャー

水辺で乾杯 in 猪名川

7月7日（金）

猪名川右岸 呉服橋上流付近の河川敷で実施

7月7日の「川の日」に青いものを身に付けて身近な水辺で一斉に乾杯を行う「水辺で乾杯」が数年ぶりに開催されました。猪名川では猪名川河川事務所の呼びかけにより、地域の活動団体や企業等の方々が河川敷に集まりました。猪名川河川事務所長と池田市長の挨拶の後に参加団体のPRタイムがあり、佐藤河川レンジャーが猪名川河川レンジャーの紹介を行いました。

午後7時7分には参加者全員で一斉に乾杯と記念撮影を行い、皆で猪名川の水辺を楽しみました。

佐藤河川レンジャーより一言

猪名川に繋がりが深い一般参加者の方々と交流できて良かったです。猪名川河川事務所長のスピーチにあったように、都市河川の猪名川を知り、楽しみ魅力を見つけ、良くしていきたいと思えました。



佐藤河川レンジャー



猪名川の歴史紹介

有岡城跡

有岡城跡は、猪名川の右岸、伊丹段丘の東縁部の一角に位置しています。もとは伊丹氏が戦国時代までに伊丹城として築いていました。文和2年（1353年）の森本基長軍中状に戦闘の記録があるようです。以後、再三戦火に遭いながら、天正2年（1574年）11月、織田信長の武将荒木村重は、伊丹氏に代わって入城しました。そして城の名を有岡城と改めて、大改造をおこないました。天正4年（1576年）に城を訪れたポルトガルの宣教師ルイス・フロイスは、本国に宛てた手紙の中で「甚だ壮大にして見事なる城」と記しています。その後、池田氏が入り伊丹城と元の名に改められ、天正11年（1583年）羽柴秀吉の直轄地となったのちに廃城となりました。時代は進み明治32年（1899年）、阪鶴鉄道（現JR福知山線）の開通によりその大半が崩され伊丹駅が設置されました。その後、昭和54年12月には城跡だけでなく、その周辺地域も含めて国の史跡に指定されました。猪名川右岸の城跡に歴史の転換点を感じに訪れては如何でしょうか。



原口河川レンジャー

写真・原口河川レンジャー提供

参考文献：『伊丹市』伊丹市文化振興課

『兵庫県の地名』平凡社、1999年

『伊丹城跡・有岡城跡』の項

『兵庫県地名大辞典』角川書店、1988年（伊丹城の項）

お知らせ

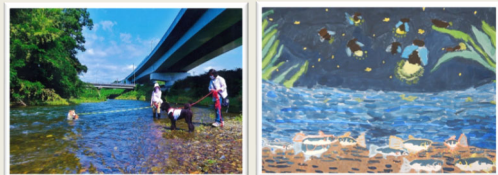
第12弾 猪名川のい〜な！作品募集

猪名川の魅力を伝える写真と絵画を募集しています。

詳しくは、作品募集チラシ、またはWebサイトをご覧ください。応募作品はWebサイトで順次公開します。



Webサイト



昨年の受賞作品

お知らせ

伊丹市生物多様性交流フェスティバル

伊丹市が主催する生物多様性をテーマにしたポスター展に出展します。猪名川の動植物に関する佐藤河川レンジャーの活動について紹介します。ぜひ会場にお越しください。

【期間】2023年8月16日（水）～8月28日（月）

【場所】伊丹市昆虫館（火曜日休館）

※観覧には昆虫館入館料が必要です。



出典：国土地理院（地理院地図を加工して作成）

猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>

メールアドレス info@iranger.jp

<https://www.facebook.com/inagawaRanger> Webサイト facebook

facebookでは、猪名川河川レンジャーの活動内容のほか、猪名川で見つけた自然や文化などを紹介しています。

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。



猪名川河川事務所 工務課
 池田市上池田2丁目2番39号
 TEL:072-751-1111(代表)